

小学部のスポーツ大会

12月14日(火)には、小学部1～6年生全員でスポーツ大会を行いました。今年度はコロナ禍ということもあり開催時期・内容の検討を重ねて、実施することができました。

今回のスポーツ大会のねらいは「競い合う」ことではなく、「親睦を深める」ことでした。準備体操でサンタクロース(校長先生)が登場し、ダンスで場を和ませていただきました。その後、1～6年生の縦割りチームに分かれ、遊びがスタートしました。

「ボール送りリレー」「フラフープ

送りリレー」といった「スポーツ」というよりも、楽しい「遊び」を5つ行いました。遊びに取り組む子供たちの顔からは、笑顔が溢れていました。最後は「チームで走りきれ!手つなぎダッシュ!」でした。チームで手をつないで、20秒ピッタリを目指して体育館を縦断します。慎重なチームあり、どんどん進むチームあり、勢いよく進む低学年の子の手を離さずに、引っ張られていく高学年児童あり。見ているチームは、他のチームのチャレンジを応援しました。ゴールし、タイムが読

み上げられると「わぁ」と歓声が上がりました。最後まで和気あいあいとした雰囲気を楽しむことができました。

この行事の運営は6年生に任されていました。開会宣言、司会、実況、お手本、チームリーダーなど、一人一役(児童によっては二役)を担当しました。当日は緊張している児童もいましたが、友達と励まし合ったり、「こう言えいいよ。」とアドバイスし合ったりする姿が見られました。また、遊びに使う道具の準備や片付けも率先して行うなど、小学部のリーダーとして、責任を立派に果たしていました。そのことに喜びを感じているようでもありました。

今回のスポーツ大会は、異学年交流で楽しめたとともに、「みんなで一つのことを楽しめること」のありがたさを改めて感じる事ができた行事となりました。

